

感染症発生動向調査／石巻感染症情報

2014年 第12週 (2014年3月17日～3月23日)

宮城県石巻保健所 疾病対策班 電話0225-95-1430 発行日:平成26年3月31日



* 石巻保健所の感染症発生状況 *

【全数報告疾患報告数】

- ・1類感染症: 報告なし
- ・2類感染症: 結核 1名
- ・3類感染症: 報告なし
- ・4類感染症: 報告なし
- ・5類感染症: 報告なし

【その他の感染症報告】

インフルエンザ
流行警報が継続中です。
宮城県全域に流行警報が発令されています。

感染性胃腸炎
宮城県全域に流行警報が発令されています。

【インフルエンザによる学級閉鎖】

小学校 1校 1学級
 中学校 1校 1学級

【インフルエンザの集団発生】
 保育施設 2ヶ所

宮城県（全域）、全国の発生動向につきましては下記のホームページで御覧になれます。

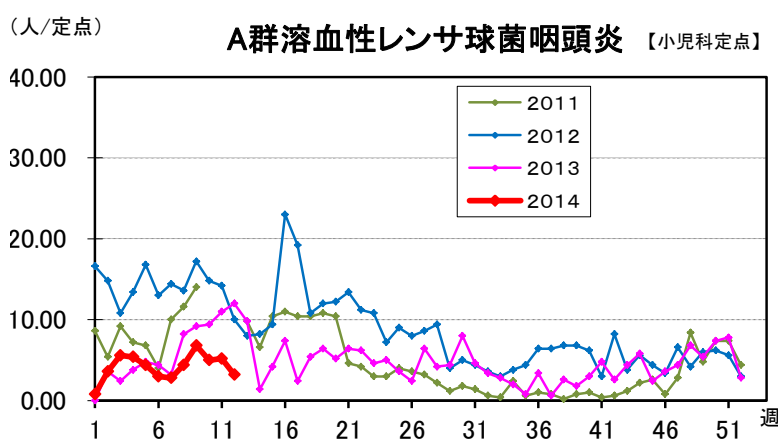
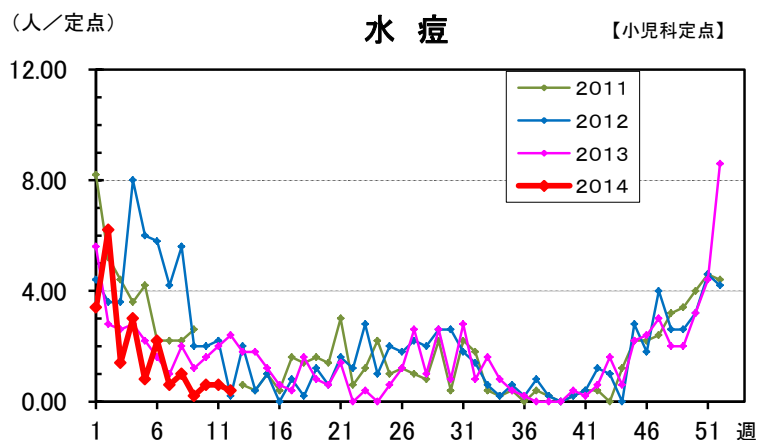
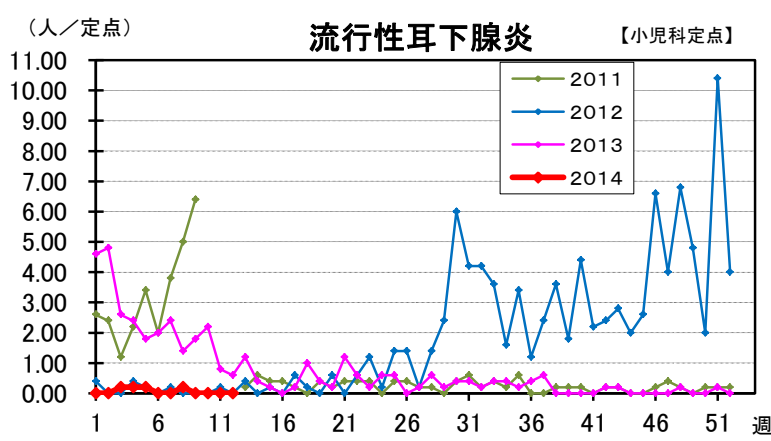
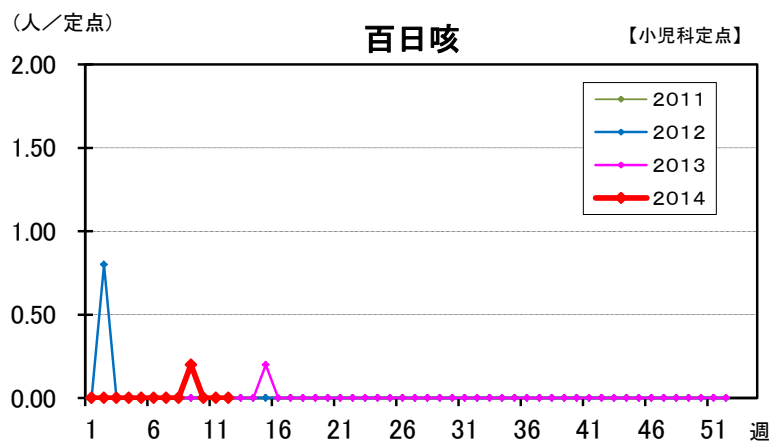
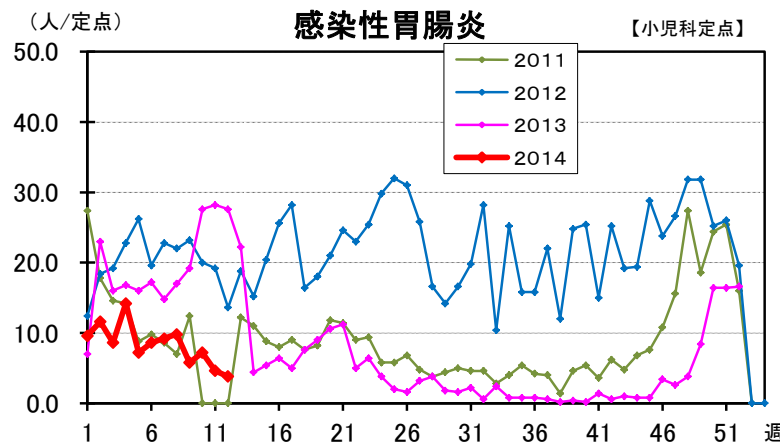
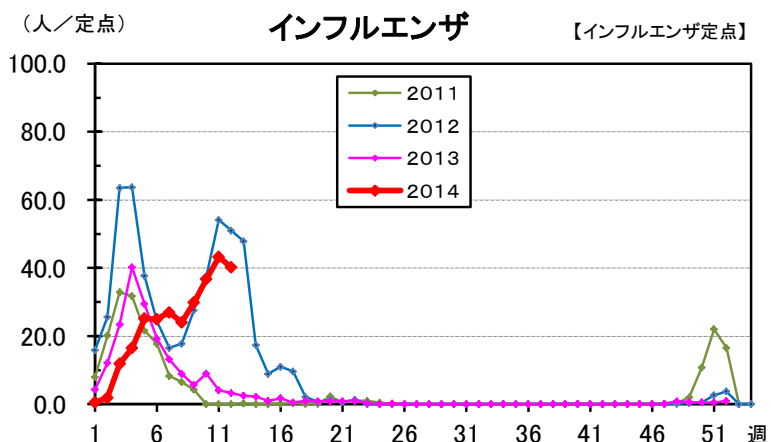
宮城県⇒宮城県結核感染症情報センター <http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansens-center/>
 全国⇒厚生労働省／国立感染症研究所感染症情報センター <http://idsc.nih.go.jp/idwr/pdf-j.html>

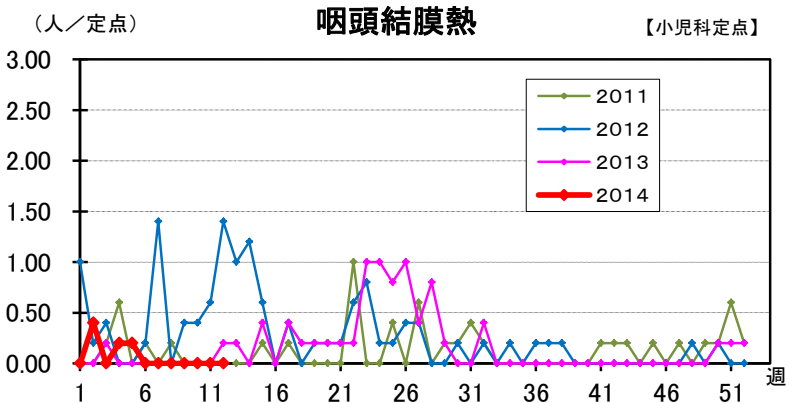
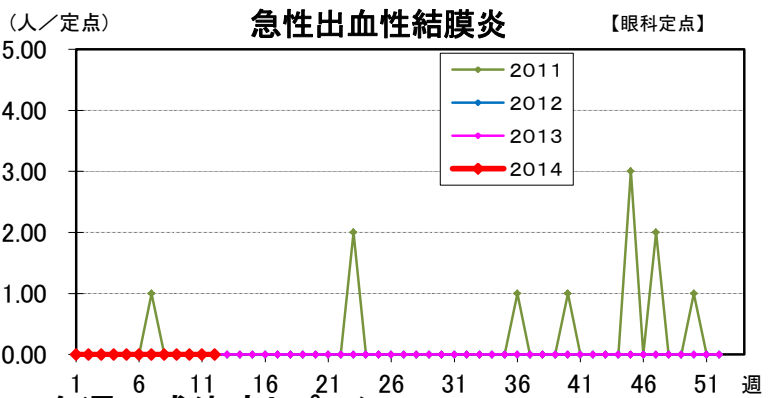
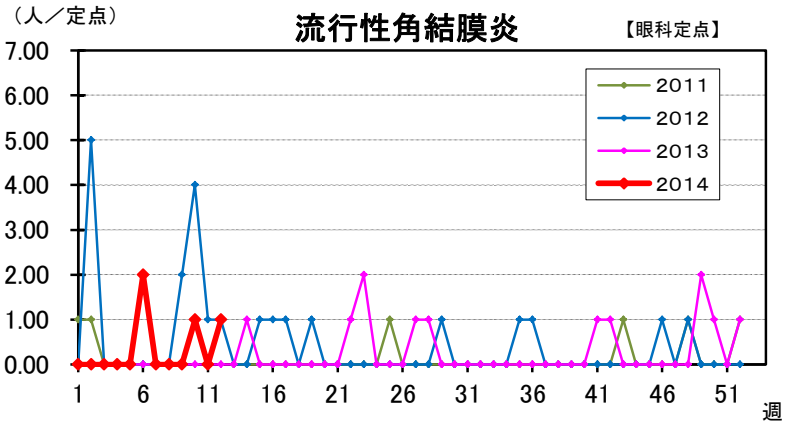
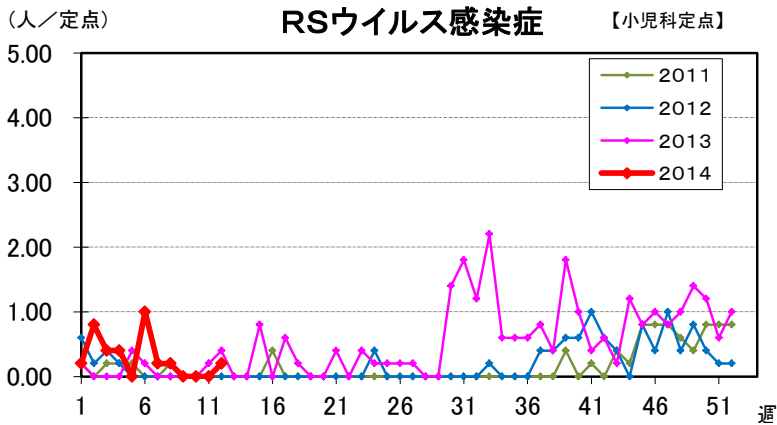
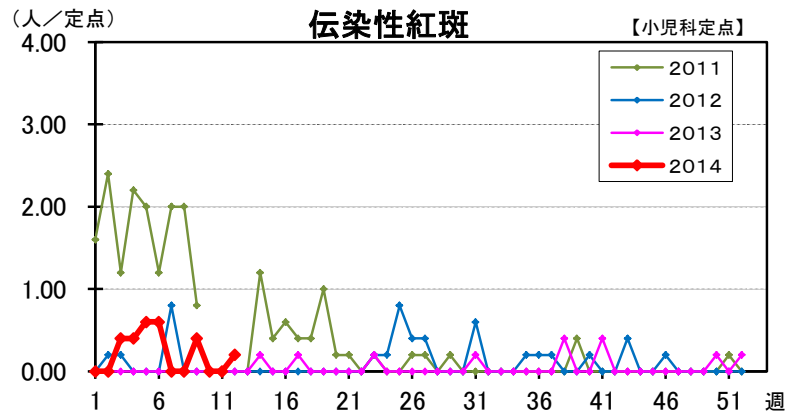
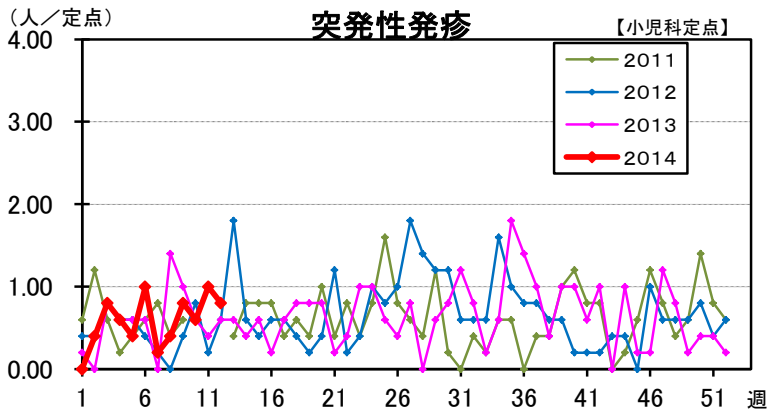
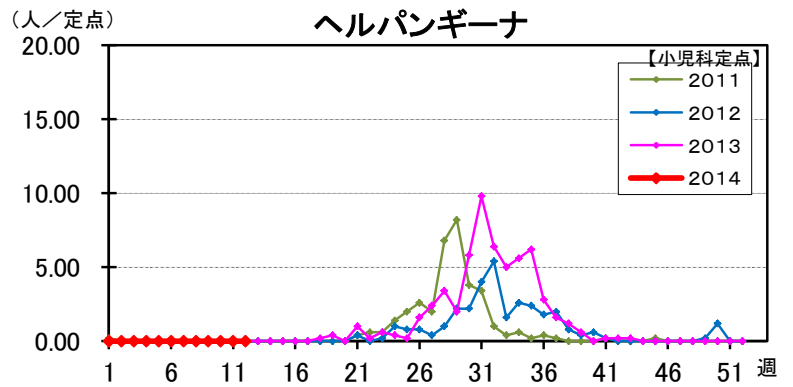
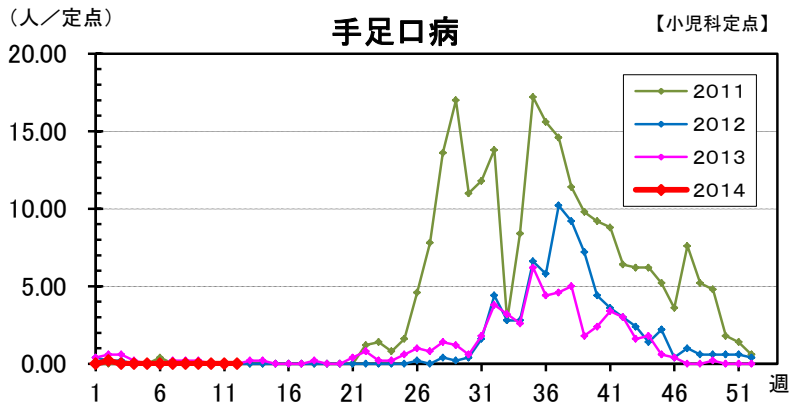
* 石巻保健所感染症サーベイランス *

過去4年間の管内1定点医療機関あたり報告人数

＜インフルエンザ定点8医療機関、小児科定点5医療機関、眼科定点1医療機関、基幹定点1医療機関＞

注)東日本大震災の影響により、2011年第10週から第49週の患者報告数は参考値です。





今週の感染症トピックス

◆結核:大学生など23人が集団感染 大崎保健所管内 /宮城(毎日新聞)

<http://mainichi.jp/area/miyagi/news/m20140321ddlk04040314000c.html>

※医療機関における結核の診断について 御留意いただくようお願いします。

◆インフルエンザ流行、患者数はほぼ横ばい、警報レベルが7週間続く(日経メディカル)

<http://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/all/special/flu/topics/201403/535578.html>

◆はしか患者情報、医師に報告義務...厚労省方針(読売新聞?)

<http://www.yomiuri.co.jp/national/news/20140322-OYT1T00348.htm>

◆HIV輸血感染 新検査8月までに全国導入(NHK)

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20140320/k10013111321000.html>

◆「成人T細胞白血病ウイルス」多数の性交渉感染(読売新聞)

<http://www.yomiuri.co.jp/science/news/20140319-OYT1T00585.htm>

◆梅毒患者が急増、目立つ男性の同性間感染(キャリアブレイン)

<http://www.cabrain.net/news/article/newsId/42347.html>

★夜のかわら版を発行しました。下記URL「HIV・エイズを正しく知ろう!」のページからご覧ください。

<http://cms.intra.pref.miyagi.jp/soshiki/et-hc/hiv.html>

麻しん・風しんは全数報告の疾患です。
診断した場合には保健所に届出をお願いします。
届け出については下記URLをご参照ください。
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01.html>

* 記載したURLは頻繁に変更になりますのでご注意下さい。
また、記事の内容の評価は行っていません *



疾感対第910号
平成26年3月20日

各医療機関管理者 殿

宮城県保健福祉部長
(公印省略)

医療機関における結核の診断について (通知)

本県の保健医療行政の推進につきましては、日頃格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、先日、県内の学校において、結核の集団感染事例がありました。結核は、全国では毎年2万2千人以上、宮城県内でも毎年230人程の新たな患者が発生しています。つきましては、下記について御留意いただきますようお願いいたします。

記

1 臨床症状、検査等

- (日本結核病学会「地域連携クリニカルパスを用いた結核の地域医療連携のための指針」抜粋)
- 結核も疑うべき事項
 - ・ 咳が2週間以上続く
 - ・ 胸部X線撮影で、明らかに他疾患と診断できない陰影の存在
 - ・ 微熱、全身倦怠感、食欲不振など、特に高齢者では呼吸器症状以外も多いので、すべての場合に考慮する。
 - 結核を疑ったときの対応
 - ・ 咳がある場合には「咳エチケット」の推奨（咳があるときはマスク着用、咳をするときはタオルなどで口を覆う）
 - ・ 咳がある場合には検査、診察を速やかに行う（優先診察）など待ち時間の短縮
 - ・ 他の患者と分離した部屋での待機が理想
 - 結核（特に肺結核）診断のための検査
 - ・ 喀痰抗酸菌塗末・培養（適切な痰、3回）、結核菌群核酸増幅同定検査、培養陽性の場合薬剤感受性検査*
 - *転院先で菌が得られないことも考え、既に患者がいない場合にも行う。必要であれば転院先に菌株を送付
 - ・ 喀痰が得られない場合：誘因喀痰、吸引痰、早朝胃液を検体とする。
 - ・ 菌陰性で診断困難な場合、IGRA検査（クオンティフェロンTBゴールド、TスポットTB、検査機関に予約要）等も参考にする。
 - ・ ただし、乳幼児、5歳未満、BCG未接種者ではツベルクリン反応検査が優先する。

2 届出等

患者を診断した医師は、直ちに最寄りの保健所に届け出る。(感染症法第12条)
感染性結核の場合、保健所は入院の勧告又は措置を行い、患者は感染症指定医療機関（結核）に入院となる。

3 結核についての情報

公益財団法人結核予防会 (<http://www.iata.or.jp>)

日本結核病学会 (<http://www.kekkaku.gr.jp>)

疾病・感染症対策室 (<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/situkan/kekkakunituite.html>)

担当：宮城県保健福祉部疾病・感染症対策室 感染症対策班 佐藤，川端 TEL：022-211-2632 FAX：022-211-2697 E-mail：situkan-k@pref.miyagi.jp
